

地域福祉活動

推進の手引

ところで…
地域福祉ってなんだろう？



むかし…

昔は、ご近所の助け合いが自然に行われ「困りごと」を、
お互いさまの精神で解決してきました。

いま…

今は少子高齢化・核家族化など、社会の変化により、
お互いさまの関係や、地域の結びつきが弱くなりつつあります。

これから…

これからは、私たち住民が、お互いの「違い」を認め合い、安心して暮らせる地域を創るために、家族や親族、隣近所、または顔の見える地域の中で、お互いさまの精神を持ち、困ったときは助け合う事のできる社会が必要です。

東御市社会福祉協議会

私たちの地域、のぞいてみよう。



【オレオレ詐欺】

“ひとごと”ではないと言うけど…
私のところはまだ大丈夫なはず。



【老々介護】

80代の夫を介護する同い年の妻…



【子育ての不安】

子育てが不安で頭を抱えるお母さん…



【子どもはスマホに夢中…】

顔の見えない関係を大切にしているみたい。
今の子ども達、どんなこと考えているの？



【認知症の高齢者や 障がい者に対する無理解】

認知症の人や障がいを持つ人のこと、あまりよくわからないかも…



【地域のつながりが減少】

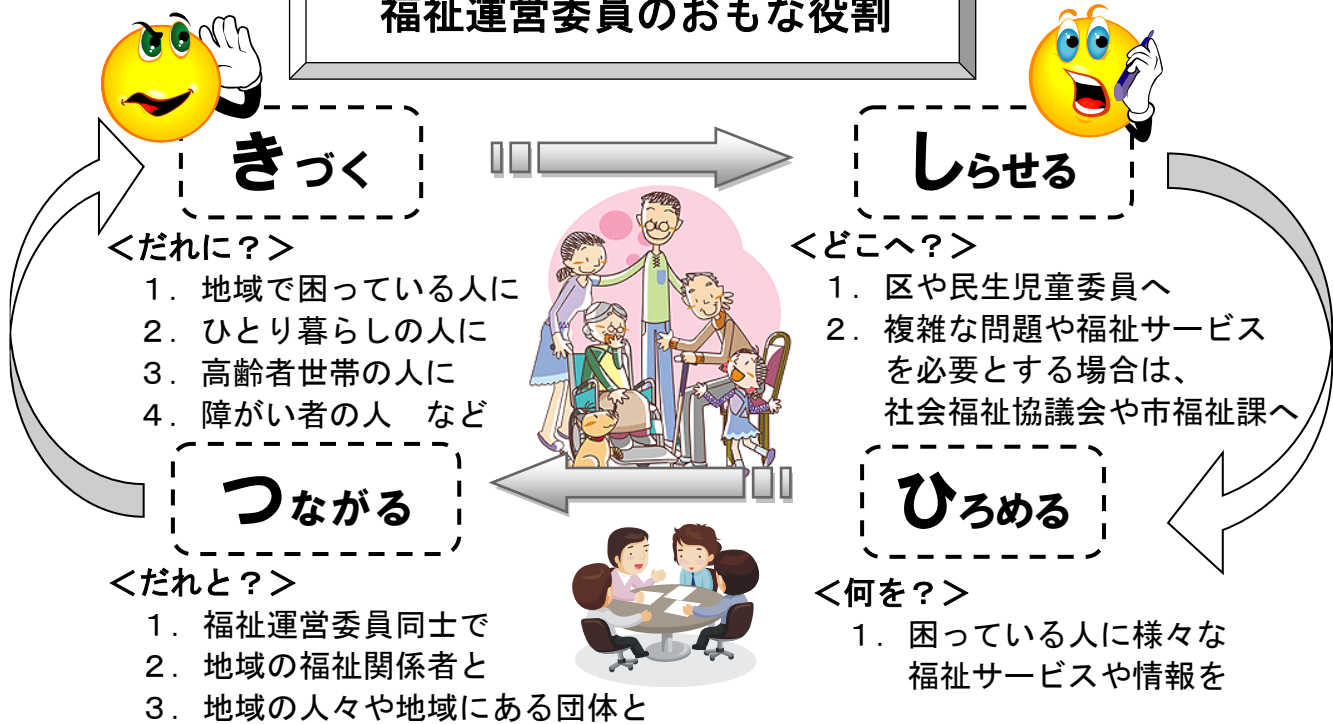
すれ違えば頭くらはいは下げるけど、
何かを協力して…なんてことはあんまりないかな。

地域福祉の組織化 (よりきめ細かい対応のために)

◆福祉運営委員会の設置

これからの福祉（地域福祉）は住民の参加が大切です。ふだんの生活の中で地域が抱える福祉問題を把握し、問題の改善、解決に向けて、顔見知りの小地域における取り組みが望まれます。

福祉運営委員のおもな役割



《福祉運営委員の活動》

■ 地域での見守り、声かけ活動 ■

- ・ 隣近所の独居・高齢者世帯や障がい者世帯、介護世帯などに対してさり気ない「声かけ」や「安否確認」などを行います。

具体的には…

- ・ カーテンや雨戸の開け閉め、新聞や郵便物、玄関の電気が付けっぱなしなどの変化に気を配ります。
- ・ 近所で出会った際、あいさつをしたり話しかけるなど、さり気なく様子をうかがいます。

■ いきいきサロン活動 ■

- ・ 平日の使用頻度の少ない公民館を活用して、誰もが気軽に集まれる場所を作ります。

具体的には…

- ・ 地域の方への参加の呼びかけ、公民館等の場所の確保、お茶だしなどを行っています。健康体操やレクリエーション等で交流を図るのもいいですね。

■ 区、民生児童委員との情報共有 ■

- ・ 必要に応じて区や民生児童委員等と連絡をとりあい、情報を提供したり、地域の福祉的問題について話し合うなど。



ご近所の力 見つめなおしてみませんか!



市内の支部（区）では、それぞれの特色を生かした「支え合い」、「助け合い」の福祉活動に取り組んでいます。ここでは、その一例を紹介します。



支え合いマップ



困りごとアンケート



三世代交流



伝統行事の継承



いきいきサロン



いきいきサロン

おらほの地域福祉づくり事業を活用してみませんか。

下記のメニューから1事業を選び、地助け合い、支え合いの活動に挑戦してみませんか。

◇対象支部 4支部（区）

◇期 間 1年間（2年間の継続可）

◇助 成 額 選んだ1事業に対して30,000円限度で助成します。



《地域の絆づくり挑戦メニュー》

その1	災害時要援護者台帳やマップづくりに挑戦（災害時の支援体制づくり等）
その2	支え合いマップに挑戦（支え合いマップから地域を知る活動等）
その3	地域の困りごと調べに挑戦（アンケートで困りごとを発見し共有する等）
その4	いきいきサロンの活性化に挑戦（参加者を増やす各種取り組み等）
その5	地域の見守り活動に挑戦（ひとり暮らし高齢者や子どもの見守り活動等）
その6	助け合い・支え合いの仲間づくりに挑戦（助け合いの会やボランティアグループの立ち上げ等）
その7	地域の絆を深める活動に挑戦（世代を超えた楽しい交流活動等）